

ほたるの里だより



「持続可能なほたるの里づくりに向けて」

ほたるの里づくり実行委員会会長 加藤 賢三

八千代市ほたるの里づくり実行委員会

第37号 2012年4月

今年、八千代市ほたるの里づくり実行委員会は、15回目の記念すべき総会を迎えます。実は、ほたるの里はその基礎工事などからみると、およそ20年にもなります。なによりも、ここは未来につなぐ八千代の潤いの水辺ネットワーク、子どもたちに託す未来への遺産として、八千代ふれあい農業の郷(道の駅)とともに整備されたところです。

基本的な里づくりの考え方はホタルの身になって、ホタルが住んでみたくなるようなところにするということです。ホタルは良い環境のバロメーターなので、そのような環境がととのえば、メダカもカエルも、その他多くの生き物が共生できる場となるわけです。そのため、市民、企業、行政が協力

して、いわゆるグラウンドワーク方式で、里づくりが行われてきました。これからの里は、多くの生き物の住める場、環境学習などの場、いこいの場などに利用され、親しまれていくことが、今までもそして、これからも期待されています。

さて、昨年は、「三つのチャレンジ」として、①里の水路の一部にミニホタルハウスづくりとホタルの飛翔、②湿地をミニ田んぼとしたミニ稲作、③里の生き物と水質調査などを目標にしました。どのチャレンジも、長期的な試みでもあり、初年度は、いろいろな課題が新たに出たので

「今年こそは！」とチャレンジします。

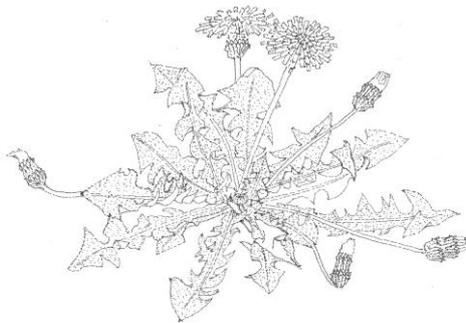
その他の行事では、里整備10回(年)、里だより発行4回(年)、学習会、①子ども環境教室、～ほたるの里からみずの旅へ(8月、小学生対象)、②屋形船から印旛沼を知る見学会(10月、成人対象)、ナイトウォッチング(8月)など。その他、ほたるの里作品展、サポセン祭り参画、ヤマトミクリの里づくり

検討事業への参画など、様々な活動を行いました。そして、今年の目標は、持続可能なほたるの里づくりに向けての着実な継続と「三つのチャレンジ」への再挑戦です。とくに、ホタルの飛翔に向けて、ホタルの気持ちを尊重しながら最大限に努力して行きます。

最近、ほたるの里でのホタルの飛ぶ数が少ないことで、ほたるの

里への風当たりをときと感じます。このような時こそいっそう、ほたるの里の活動へのご理解とご参加をお願いできればと思います。里づくりは、設立当初から市が事務局ではありますが、市民、企業、行政からなる実行委員会の良好な連携・協働(グラウンドワーク方式)による活動であり、お互いの理解を図り、八千代の誇れるほたるの里にして行ければ幸いです。

里の活動をまちづくりの一環として、「ホタルもヒトもかがやく街」にしたいですね。



カントウタンポポ

人もホタルも輝く街へ！！ 私たちはほたるの里を応援しています！

石井食品株式会社

NPO法人高齢者福祉ネット

NPO法人子どもネット八千代

NPO法人八千代オイコス

ガールスカウト千葉県第57団

Kid's ☆garden

共栄物流株式会社

クボタ環境サービス株式会社

斉藤鑿泉管工

CACスイミングスクール勝田台

Take まつげ専門店

トーネツ株式会社

日産自動車八千代営業所各支店

八千代ホタルフォーラム

有限会社A

有限会社ふれあい総合企画

米本団体自治会

「つなぐ・活かす・まもる」

やちよ里山シンポジウム2012

日時：3月24日（土） 13:30～16:45

参加者：119人

場所：八千代台文化センター 多目的ホール

基調講演 「里山保全と生物多様性」

吉田 正人 氏（筑波大学院准教授）

事例報告 「谷津は里山の生物多様性の起点」

手塚 幸夫 氏（夷隅郡市自然を守る会事務局長）

「八千代市谷津・里山保全計画」及び里山活動から

高橋 和也 氏（環境保全課環境政策室）

意見交換会



基調講演の風景

事例報告では生物多様性ちば県戦略は県民が直接参画して作成された具体的な戦略であるとの説明が最初にありました。次に「里山」を象徴している生きものは何が考えられますかと質問されていました。ホタルやカエルは多くの人から挙げられることが多く、生きものつながりの中で生息が保障されてきた生物であり、特に農業と共存関係にあると考えられると言われていました。最後には三つの谷津再生に取り組んだ事例について、耕作放棄地に光を入れ、湿地に水の回廊を作ることにより自然とどうかかわり管理していくべきかといった内容をわかりやすく説明して下さりました。

市からは、八千代市谷津・里山保全計画、里山整備ボランティア育成講座（里山楽校）、谷津・里山現地調査等についての説明でした。ほたるの里づくり実行委員会では会報の配布と活動内容のパネル展示を行いました。（文責 広報部）

里山は山林、田畑、池沼、河川、集落等が組み合わされ、古くから人々の生活と結びついて維持されてきた環境です。都市化が進んでいる八千代市内にも里山風景は残っていて、食料の生産の場、生物の生息・生育環境として重要な役割を担っています。

基調講演では里山は森林、ため池、水田など小さな生態系がモザイクのように組み合わせられた景観であり、結果として豊かな生物多様性が育まれていることを話されました。里山の生態系について①供給サービス②調整サービス③文化サービスの3つの詳細な説明がありました。また、後半では講師の体験をもとにフィリピンの棚田の話より、現地の人にとっては風景としての「棚田」ではなく、生活の糧としての「耕作地」と田の中に魚がすめる場があることは印象的でした。↗



ヤマトくん



ヤマトミクリの里づくり協議会から



ミクリちゃん

ヤマトミクリが生息する、ヤマトミクリの里（島田・桑納地区）の保全・再生・活用検討をするための平成23年度連携・協働による地域課題解決モデル事業は、3月15日で終了しました。

ほたるの里づくり実行委員会は協議会のメンバーとして参画してきました。内容は地権者、地元住民、農家、市民団体、大学、事業者、八千代市等多数の関係者が参加する円卓会議で、23年9月から7回開催しました。当初は、ヤマトミクリ？もお互いよく知らないなか、地元の方のご協力やサポートをいただき、ヤマトミクリの里を活性するために、↗

ヤマトミクリの保全、森、畑、田んぼ等を整備しようと決め24年度は実施していくことになりました。

「最近、島田谷津を歩く人が増えたよ」と地元の方から伺いました。関心を持たれるのはよいのですが、森も田も必ず持ち主があり、あぜ道を壊したら稲作づくりにダメージを与えます。また水路の土手は、農家の方も草刈りの時だけ踏み込むそうです。協議会では「里山歩きのルール」のカードを作りました。住んでいる方へ配慮して、谷津・里山をお互いに大事な八千代の宝としていきたいものです。

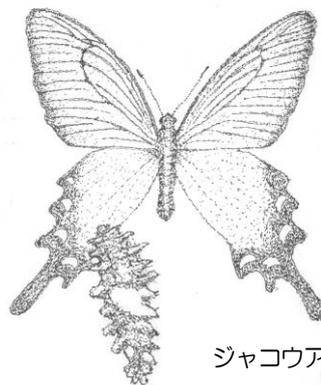
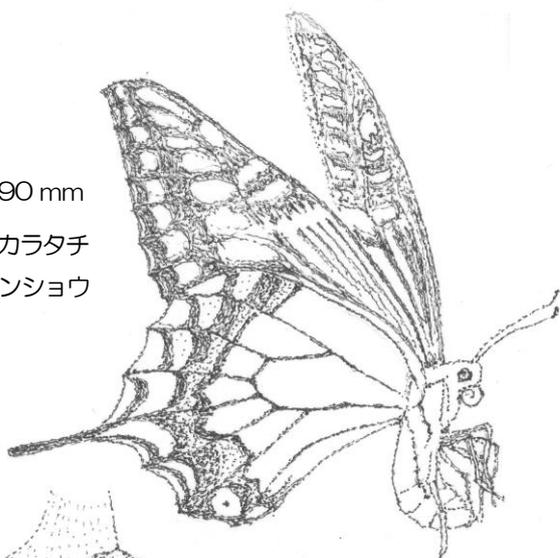
（協議会 事務局）

～きっずコーナー～

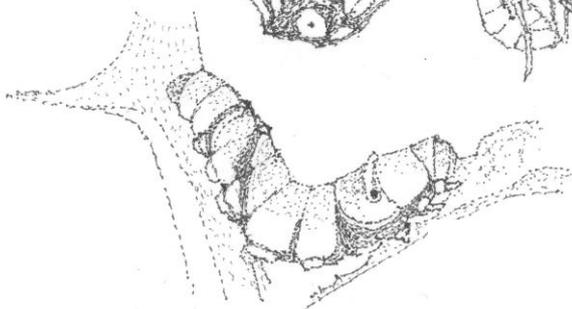
ほたるの里が春になる
チョウがひらひらやってくる

チョウの幼虫のたべものは ^{しほるい}種類によってちがってる
一年になんとか生まれるけど もようが少しちがってる

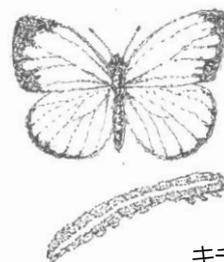
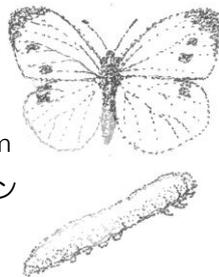
アゲハ 90 mm
食草 ^{しょくそう}カラタチ
サンショウ



ジャコウアゲハ 100 mm
食草 ウマノスズクサ



モンシロチョウ 45 mm
食草 キャベツ, ダイコン



キチョウ 45 mm
食草 ハギ, ネムノキ

湧き水の研修会について

基調講演：「水循環と湧水」 近藤 昭彦 氏
千葉大学リモートセンシング研究センター教授
研修：「湧水と水質」 小倉 久子 氏
元 千葉県環境研究センター水質環境研究室長

2月25日、水循環から湧き水の仕組みと湧水の水質について「湧き水の研修会」をヤマトミクリの里づくり協議会と市で共催しました。

台地に降った雨は地中に浸透し、一部は谷津田や斜面林から湧き出ます。この湧き水は地域の生き物、生態系を支えるために重要な存在です。

講師の説明により、雨水が湧水に至るまでの過程、湧水に関与する地層の構造などを知ることができました。また八千代市で2001年に実施した「八千代市水辺の自然環境調査報告書」をもとに湧水調査を行う際、どのようなことが調査の指標になるか説明もありました。↗



研修会説明風景

湧水保全は里山保全に大きく関係していることを改めて実感し、参加者からも湧水保全の重要性を感じたといった声を聞くことができました。春の自然観察調査会では、市内で比較的湧水がよく観察できる花輪川で、調査方法の学習を行う予定です。

(文責 事務局)



総 会

4 / 7 (土)	10:00~12:00
-----------	-------------

ナイトウォッチング

ホテルメイトには後日、日程をお知らせいたします。

見 学 会

ホテルメイトには後日、日程をお知らせいたします。

ホテルを守ろう！ザリガニ釣り大会

8 / 25 (土)	9:00~11:00
------------	------------

学 習 会

ホテルメイトには後日、日程をお知らせいたします。

環 境 整 備

5 / 12 (土)	9:00~11:00 (田植え)
6 / 9 (土)	9:00~11:00
7 / 21 (土)	9:00~11:00
8 / 25 (土)	9:00~11:00 (ザリガニ釣り大会)
9 / 22 (土)	10:00~12:00 (稲刈り)
11 / 10 (土)	10:00~12:00
1 / 19 (土)	10:00~12:00
3 / 2 (土)	10:00~12:00

作 品 展

ホテルメイトには後日、日程をお知らせいたします。

印西市まちづくり推進課と市民が

ほたるの里を視察されました

3月11日の午前中に、印西市小林地区の市民と印西市まちづくり推進課の方約30人が、ほたるの里を先進地視察ということで訪問されました。訪問の理由は、印西市が平成20年3月に策定された「小林地区活性化計画」の「身近で楽しい谷津・里山の自然空間の創造」の実現をめざし、小林地区にホテルを飛ばして活性化を図るために、ほたるの里づくりの視察と実行委員会の組織について知りたいということで、選ばれたそうです。参加された方は、「里の管理はどのようにしているか?」「ほたるを飼育する際の注意点は?」等熱心に質問されました。事前に小林地区のホテルの里の候補地を拝見しましたが、ホテルの生息に恵まれた環境と感じました。「ホテルも人も輝く街に」の八千代からのメッセージが広がれば良いですね!(桑波田)



ほたるの里のHPは八千代市のHPよりアクセスできます。



<http://www.city.yachiyo.chiba.jp/siyakusyo/kankyo-seisaku/hotarunosato/index.html>

ホテルメイトになりませんか?

年会費(4月~3月)

個人	500円
市民団体	2,000円
事業所	2,000円

ホテルメイトで会費未納の方は、市環境保全課窓口、イベントまたは里整備時で受け付けている他、お近くの郵便局でも郵便振替で納入していただくことができます。

(ゆうちょカードをお持ちの方はATMでお振り替えいただくと手数料が無料です。)

郵便局でお振込の場合

振替手数料 ATM: 80円

窓 口: 120円

払込先: 八千代市ほたるの里づくり

実行委員会

口座番号: 00150-7-670156

会費納入のお願い

24年度会費納入の振込票を同封していますので、よろしくお願いたします。

【ほたるの里の連絡先】

〒276-8501 八千代市大和田新田312-5

八千代市ほたるの里づくり実行委員会事務局 八千代市役所環境保全課 内

Tel 047-483-1151 Fax 047-484-8824 E-mail kankyou1@city.yachiyo.chiba.jp

【編集】

広報部会 事務局